

新年度が始まりました。初めての一人暮らしで、料理や家事にチャレンジしている方も多いのでは？

でも、仕事や学校の帰りに買い物をしようとしたらもうお店が閉まっていた、閉店時刻が近づいていてあわてて買い物をした、など、もう少し遅くまでお店が開いていれば、と思ったことはありませんか？

そこで、今日は「商業統計調査」をもとに、小売業者の閉店時刻についてみてみましょう。全国と山口県の状況を比較してグラフにしてみました。

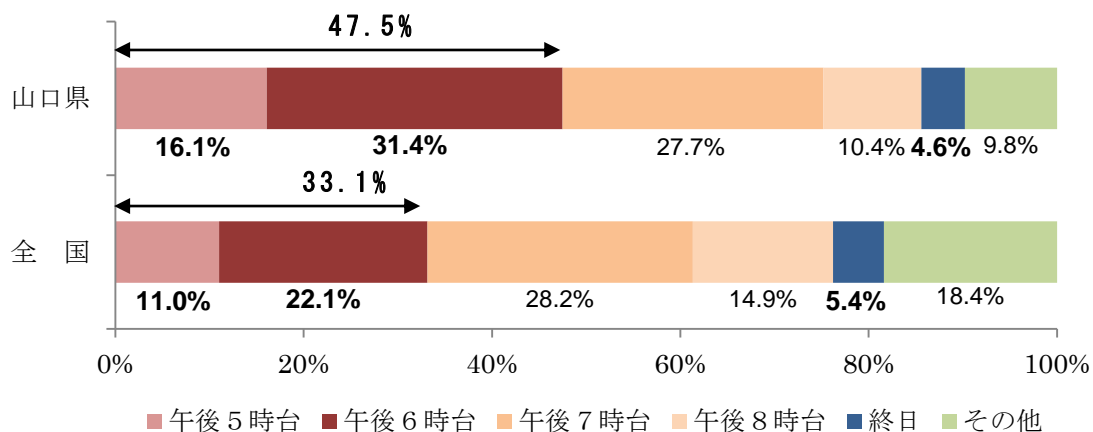
午後5時台に閉店する小売業者の割合は、山口県16.1%、全国11.0%と、県内のお店の方が多くなっています。

また、午後5時台・6時台でみると、山口県47.5%、全国33.1%と、さらに大きな開きがあることがわかります。午後5時台・6時台に半数のお店が閉店するのはちょっと寂しいですね。

その一方で、コンビニなどの終日営業のお店は、山口県では4.6%、全国では5.4%と、あまり差がないこともわかります。

こういったお店や事業所の活動状況を明らかにする「商業統計調査」は、今回は、「経済センサス - 活動調査」の中で実施します。「経済センサス」は、経済の国勢調査とも呼ばれる大規模な統計調査で、商業だけではなく、工業、サービス業などあらゆる事業所を対象に、6月1日付で行います。皆様のご協力をお願いします。

小売業者の閉店時刻(事業所数の構成比)



出典：経済産業省「平成26年商業統計調査」